

【管内初】陸上自衛隊第10師団及び通信事業者との合同訓練を実施 ＜災害時における貸出用移動通信機器のヘリへの搭載訓練＞

東海総合通信局(局長:長塩 義樹)は、令和4年2月24日(木)に陸上自衛隊第10師団春日井駐屯地において、第10師団及び通信事業者とヘリへの合同搭載訓練を実施しました。

本訓練は、大規模災害発生時に通信が途絶え孤立した地域まで、当局で保有している貸出用の衛星携帯電話等の移動通信機器や携帯電話事業者の資機材をヘリ輸送するという想定で実施するもので、これにより災害で通信が途絶えた地域への携帯電話など通信手段の早期復旧が可能となり、地域住民の不安軽減にもつながります。

当日は、東海総合通信局、西日本電信電話株式会社、株式会社NTTドコモ、KDDI株式会社及びソフトバンク株式会社と陸上自衛隊第10師団が訓練に参加しました。東海総合通信局は令和2年12月17日(木)に第10師団との間で「災害時の相互協力に関する協定」を締結したことにより、今回初めて訓練に参加しました。

訓練では災害時の状況を想定して、各社等の車両から通信機器等の支援物資をヘリの近くまで運び、それらを待機しているヘリに搭載し、固定をし、実際に飛ぶという実践的な訓練を行いました。

当局では、今後も災害時における地域住民への通信手段の確保のため、関係機関との連携を深めながら訓練を実施していくこととしています。



【訓練の様子】